

令和4年度 清 滝 小 学 校 経 営 方 針

1 基本理念 【校訓】 強く 正しく 潔く 《3つの羅針盤》

○「生きる力」と「夢実現力」の育成

- ここに学ぶ子は、たくましい体と強い心をもって目標に向け正しいことをやりぬきます。
- ここに学ぶ子は、より良いことを求め、正しい判断、正しい行動が行えるようにはげみます。
- ここに学ぶ子は、優しい心を持ち、明るく、気持ちよく人に接していきます。

2 学校教育目標 【もてる力を発揮し つながり 響き合う児童の育成】

<チーム目標>

- 生活背景や内面の理解に努め、温かくゆとりのある心で接し、良さや可能性を引き出す。 (達成感、自己有用感)
- 教科学習での学びを道徳教育やふるさと教育で生かし、活用力を伸ばす。(言語活動の充実、教科等横断的な教育課程)
- 5つの「徹底・継続」実践事項の高度化を図り、「主体的・対話的で深い学び」の具現化に向けた授業改善を推進する。(後半重視の授業、道徳の授業改善)
- 小・中・園の連携を強化し、生活習慣の定着 (SNS, 睡眠) と校種間引継ぎの充実を図る。(小中一貫教育)
- 業務改善の主体者であることを自覚し、チームで勤務時間の適正化を推進する。(週60時間以内の勤務)
- 全職員で子どもを育てる意識を持ち、課題を共有し支援する体制を築く。(報告・連絡・相談の徹底)

めざす子ども像

- より良いことを求め 共に考え 高め合う子 (知の羅針盤)
- 思いやりと感謝の心を持ち、気持ちよく人と接する子 (徳の羅針盤)
- 強い心とたくましい体で目標に向けやりぬく子 (体の羅針盤)

<子どもの「生きる力」「夢実現力」を育む重点項目>

- 知** 「わかる喜び 学ぶ楽しさのある授業づくり」を推進し、基礎・基本の定着と活用力を育む。
〔5つの「徹底・継続」実践事項の高度化、算数で身につけた学びの力を他教科で活用〕
- 徳** 「大丈夫」「ありがとう」等、思いやりと感謝のある集団づくり、道徳教育・ふるさと教育等を充実させ豊かな心を育む。〔With コロナでの体験学習の充実、「対話的な学び」を重視した道徳授業〕
- 体** 「たくましい体と強い心づくり」に向け体力の向上と 家庭と連携した生活習慣の定着を図る。
〔マラソン、縄跳び、学校スキー、市販準備運動、豊岡モデル、眠育、節度ある SNS の利用〕

研修テーマ「議論することで 社会・自分・仲間と 肯定的につながる子どもを育てる」

めざす学校像

- 一人一人の学びを支え、明るく活気あふれる学校
(学びの保障)
- 安全・安心で生き生きと生活できる美しい学校
(命と心をつなぐ)
- 児童を通じ家庭・地域とつながり、信頼される学校
(子育ては共に)

めざす教師像

- 子どもに寄り添い、可能性を引き出し、伸ばす教師
(一人一人に寄り添う)
- 「わかる喜び、学ぶ楽しさのある授業」を追究する教師
(主体的・対話的で深い学び、5つの「徹底・継続」実践事項)
- 互いを尊重し、磨き合い、高め合う教師
(チーム清滝)

学びの土台づくり

- 子どもを愛し、大切に作る家庭づくり ○子どもが安心し、安全に過ごせる地域づくり
- 自律に向けた基本的な生活習慣の定着 (早寝・早起き・朝ご飯・省ゲーム・省テレビ・省SNS・家読書)